

令和5年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	81	学校名	茨城県立鬼怒商業高等学校					課程	全日制		学校長名	青木 一芳				
教頭名	上形 勤					事務(室)長名	深谷 充									
教職員数	教諭	29	養護教諭	1	常勤講師	6	非常勤講師	5	実習教諭 実習講師 実習助手	3	事務職員	3	技術職員等	4	計	54
生徒数	小学科			1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数		
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	商業に関する学科			53	86	/	/	/	/	/	/	53	86	4		
	商業科			/	/	40	73	40	70	/	/	80	143	6		
情報ビジネス科			/	/	12	28	8	32	/	/	20	60	2			

2 目指す学校像

<ul style="list-style-type: none"> ○保護者や地域の期待と信頼に応え、地域のリーダーとなる「人財」を育成する学校 ○自ら考え、判断し、行動できる生徒を育てるとともに、一人一人の資質・能力や個性を伸ばす学校 ○安心・安全な学校
--

3 三つの方針（スクール・ポリシー）

「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者や地域の期待と信頼に応え、地域のリーダーとなる「人財」を育成する学校 ○生徒が自ら考え学ぶことをとおして、一人一人の資質・能力や個性を伸ばす学校 ○安心・安全な学校
「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	<p>○次の6項目を推進することにより、鬼怒商業高校生としての誇りをもちつつ、将来、地域のリーダーとして社会に貢献できる「人財」の育成に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の個人的資質の向上に努める。 2 商業に関する専門的知識の育成に努める。 3 保護者や地域の期待と信頼に応える学校づくりに努める。 4 生徒一人一人の資質・能力を伸ばすために、学校全体で取り組む組織づくりに努める。 5 安心・安全な学校づくりに努める。 6 教育活動の一層の充実に向けて、業務の効率化を図る。
「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・) ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> ○世の中の動きや商業に興味があり、商業に関する学習をしたい生徒 ○簿記・情報処理などの資格や商業の学びを生かして進学・就職したい生徒 ○目標をもち、本校での学習をとおして自分の可能性を伸ばそうとする生徒 ○学校行事、生徒会活動、部活動などに積極的に取り組む意欲のある生徒

4 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の生徒のタブレット使用については教員や教科、学年によって使用頻度にばらつきがある。 ○「単元別指導と評価の計画」を念頭に置いた観点別評価の適正な運用については、計画に関しても指導に関しても評価に関しても手探りでの実施である。 ○朝ドリルの実施や放課後や長期休業中の時間を利用して指導する機会を設け、フォローアップに努めることはできたが、生徒本人の学習に対する意識の変容までは困難である。 ○個人情報保護に関する研修を通して教員への啓発を行い、適切に管理することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての教科でタブレットをどの場面で活用するのかを明確にした上での確実な実施。また、教員個人のタブレット活用や利用技術についても使用頻度に差があったので、相互授業参観などを通してICT利用技術に関しては情報を共有し、利用技術の更なる向上を図る。 ○「単元別指導と評価の計画」を念頭に置いた観点別評価については、教員の授業改善、生徒の学習改善を前提とした、より一層の全職員の共通理解。 ○1学年で実施する「探究」に関する学習の進め方。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○年間予定のガイダンスは全て実施できた。 ○就職関係は会社見学を100%実施できている。学校紹介による内定も100%である。 ○求人票閲覧システム「Handy進路指導室」の活用により、生徒及び保護者にも十分な情報提供ができています。 ○進学関係では、3学年の尽力によりほぼ全ての生徒がOCに参加している。 ○企業やハローワークと綿密な情報交換による連携が図れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路行事の企画は、コロナ拡大の影響を考慮しながら柔軟に対応する。 ○進学指導と就職指導の時期の調整。 ○就職・進学の資料及び電子データ整理を計画的に進める。 ○生徒の企業見学の企業数。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○校内のルールやマナーが浸透し、規範意識の高い生徒の割合が増えてきたことから、全体的に落ち着いた雰囲気で学校生活を送ることができている。 ○生徒指導における学年間の格差も少しずつ解消されてきており、生徒からの不満なども以前より減ってきている。 ○交通事故発生件数の増加、交通マナーにそぐわない自転車の乗り方、またゴミのポイ捨てなどのモラルの欠如といった校外の部分では、改善すべき点が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活、服装容儀、ネットモラルについては、その必要性を説きながら引き続き様々な場面で根気強く指導していく。 ○立哨のみならず、学校周辺の巡回を強化し、学校外の行動について指導する機会を増やし、学校内外で真に社会性のある生徒を育てる。 ○多様性を重視する社会状況を真摯に受け止めて、旧来の指導方法を見直す謙虚な姿勢を全職員がもつ。 ○指導方法や内規の運用等で見直しの必要性が発生した場合については、年度途中であっても協議の場を設け、柔軟に対応していく。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事に関しては、感染対策を実施しながら昨年度より一歩進んだ形で実施することができた。文化祭については、保護者のみの招待であったが公開している。 ○生徒会役員・実行委員が活躍し、生徒の力が生かされた行事運営ができている。また、行事後の振り返り等を通して各々の生徒が生徒会活動に主体的に参加する姿が見られる。 ○特活部担当者は少ない人数であったが、意思疎通を図りながら打合せを重ね、行事運営や部活動へのサポートに尽力している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化祭実行委員会の回数を削減を図り、効率的に準備を進める。 ○文化祭等の準備のためのHRが十分確保できないため、行事内容の精選や文化祭までの準備期間の検討。 ○施錠の徹底を図るために、顧問・生徒が連絡を密にする。 ○部活動運営を円滑化するため、部活動の精査、顧問編成の検討。
教育活動充実のための業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ○定時退勤日を設け、勤務時間の縮減に取り組んだ結果、超過勤務時間45時間以上の職員の割合は減少しているが、生徒の多様なニーズに対応するために、担当する校務によっては長時間勤務となる職員もいる。 ○ICT活用に向けた通信環境の改善及び調整の必要である。 ○職員が減少し、校務分掌の人員が減り、業務の負担が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○業務の効率化の一層の推進と部活動運営に関する校内組織体制づくり。 ○校内研修等の実施による教職員のICT活用のスキルアップ。 ○業務内容の見直しと校務分掌の再編成。

5 中期的目標

<p>本校の目指す学校像を踏まえ、鬼怒商業高校生としての誇りを持ち、地域のリーダーとなって社会に貢献できる「人財」の育成に努め、活気ある校風の確立を目指す。</p> <p>そのために、次の6項目を努力目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の個人的資質の向上に努める。 2 商業に関する専門的知識の育成に努める。 3 保護者や地域の期待と信頼に応える学校づくりに努める。 4 生徒一人一人の資質・能力を伸ばすために、学校全体で取り組む組織づくりに努める。 5 安心・安全な学校づくりに努める。 6 教育活動の一層の充実に向けて、業務の効率化を図る。
--

6 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 生徒の個人的資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の確立及び豊かな情操とコミュニケーション能力の向上 ○授業、部活動、学校行事等、学校教育活動全体を通じて達成感、生徒の自己肯定感の向上 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習改善による、新時代に求められる資質・能力の向上
2 商業に関する専門的知識の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○教科内の連携による指導法の共有及び授業公開と意見交換による教員の授業改善 ○タブレット端末や電子黒板等、ICT機器を有効に活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現 ○主体的・協働的に課題の発見・解決に取り組む態度の育成
3 保護者や地域の期待と信頼に応える学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○出前授業や学校Webページ等、教育活動の効果的な情報発信による募集人員の定数確保 ○キャリアパスポートの活用及びキャリア教育の充実による進路実現100% ○ボランティア活動や課題研究等、地域社会と連携した体験的学習及び課題解決学習の充実
4 生徒一人一人の資質・能力を伸ばすために、学校全体で取り組む組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラム・マネジメントを推進し、計画的かつ組織的な教育活動の向上 ○PDCAサイクルを機能させ、学校評価と関連付けた教育内容の質の向上および教師の授業改善 「授業に対して肯定的に評価している生徒」の割合90%以上 ○組織マネジメントの推進、教職員間の活発な意見交換による学校運営及び業務の改善
5 安心・安全な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が安心して学習に取り組める環境づくり ○いじめ・体罰・災害等の防止及び迅速な対応 ○ホームルーム、授業、二者面談及び三者面談等、生徒一人一人と向き合う丁寧な対応
6 働き方改革の一層の充実に向けた業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ○各業務について、教育の目的達成に適切な方法となっているか不断の見直し ○校内における情報の共有化の推進 ○地域の人的・物的資源を活用した教育活動の推進